

# 「DNPグループ環境ビジョン2050」の実現に向けて

DNPは、「DNPグループ環境ビジョン2050」に掲げる「脱炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」の実現に向けて、中期目標を設定しています。

Scope3排出量削減に関しては、これまでサプライヤーエンゲージメント目標としていましたが、2025年4月に削減目標に変更しました。この目標と2024年4月に設定したScope1・2排出量削減目標が、SBT1.5°C水準に合致していると認められました。

	施策	中期目標	ありたい姿
	← バックカスティング		
項目		2030年度目標	2050年
Scope1・2排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネ活動・高効率機器への更新</li> <li>事業ポートフォリオの転換</li> <li>再生可能エネルギーの導入</li> </ul>	GHG排出量を 2019年度比46.2%削減	脱炭素社会
Scope3排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業ポートフォリオの転換</li> <li>低排出量材料への移行</li> <li>輸送効率の改善</li> </ul>	2019年度比27.5%削減 (対象カテゴリ:1・3・4・5)	
環境配慮製品・サービスの売上高拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境貢献製品の開発促進</li> <li>リサイクルしやすい製品の開発促進</li> </ul>	スーパーエコプロダクツの 総売上高比率を30%に拡大	循環型社会
資源循環率 <sup>※1</sup> 向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>不要物総排出量の最小化</li> <li>リサイクルの促進</li> <li>最終処分場利用率の最小化</li> </ul>	不要物全体で 資源循環率 70%を達成	
水使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>水の効率的利用</li> </ul>	水使用量原単位を 2019年度比30%削減	
印刷・加工用紙調達ガイドライン適合証明書取得率	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物多様性に配慮した用紙の調達</li> </ul>	取得率100%	自然共生社会
環境保全 <sup>※2</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>傾向管理による基準値遵守の徹底</li> </ul>	規制基準の70%以下を維持	

## DNPグループ環境ビジョン2050

DNPは、持続可能な社会の実現に向け、P&Iノベーションによる新たな価値の創出により「脱炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」を目指します。

### 【脱炭素社会(気候変動の緩和と適応)】

- ・ 自社拠点での事業活動にともなうGHG(温室効果ガス)排出量実質ゼロを目指します。
- ・ 製品・サービスを通じて脱炭素社会の構築に貢献していきます。

### 【循環型社会(資源の効率的利用)】

- ・ バリューチェーン全体で資源を効率的に利用し循環させることで、最大限の価値を提供します。

### 【自然共生社会(生物多様性の保全)】

- ・ バリューチェーン全体での生物多様性への影響の最小化と、地域生態系との調和を目指します。

※1 資源循環率：紙有価物量等を除外した不要物(廃棄物+有価物)のうちマテリアルリサイクルまたはケミカルリサイクルされた割合。  
焼却での熱回収、廃プラスチック類の固形燃料化、廃油の燃料化などはサーマルリカバリーとしリサイクルから除外。

※2 環境保全項目：大気、排水、臭気、騒音、振動。

## 温室効果ガス(GHG)排出量削減目標が「Science Based Targets (SBT) イニシアチブ」の認定を取得

DNPは2018年7月、国際的な環境団体「Science Based Targets (SBT) イニシアチブ」の認定を取得し、2021年4月には、「Well below 2°C目標」として更新認定を取得しました。

さらに2024年に更新したScope1+2排出量目標と2025年に更新したScope3排出量目標が、2025年4月に「1.5°C目標」として認定されました。

今後もDNPは、省エネ活動や省エネ設備の導入など、GHG排出量の削減活動を一層強化します。また、サプライヤー各社との関係を強化し、GHG排出量の把握や低排出材料への移行を進めることで、サプライチェーン全体の排出量削減を加速させていきます。

